

決算説明資料 2026年3月期第2四半期(中間期)

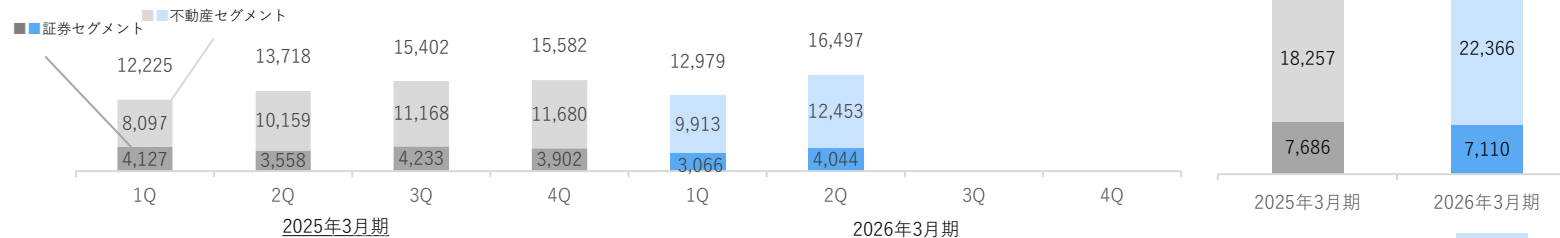
2025年12月2日

1-①. 連結PL <当期・前期>

- ▶ 証券セグメントにおいてトレーディング損益等が減少した一方で、不動産セグメントでは中古マンションの販売単価の上昇や高齢者施設1件の売却が大きく寄与し、営業収益は前年同期比14%増
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比42%の増益

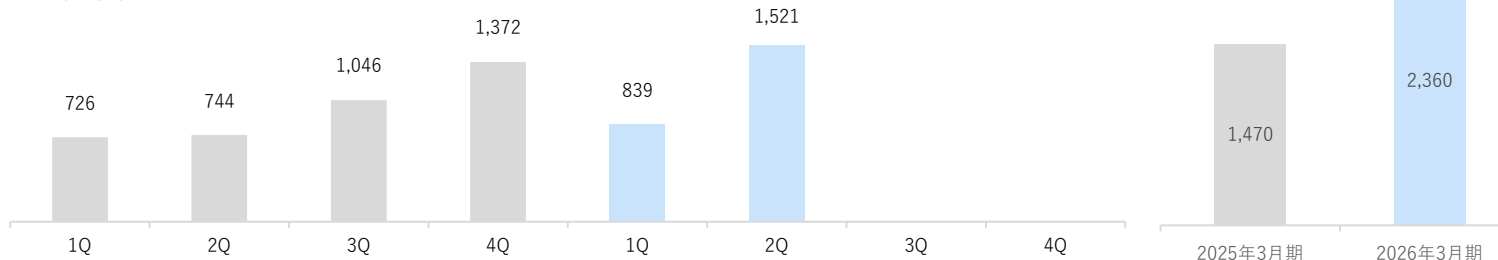
■ 営業収益 連結消去後（単位：百万円） （外部顧客に対するもの）

四半期推移
（四半期会計期間毎の推移）



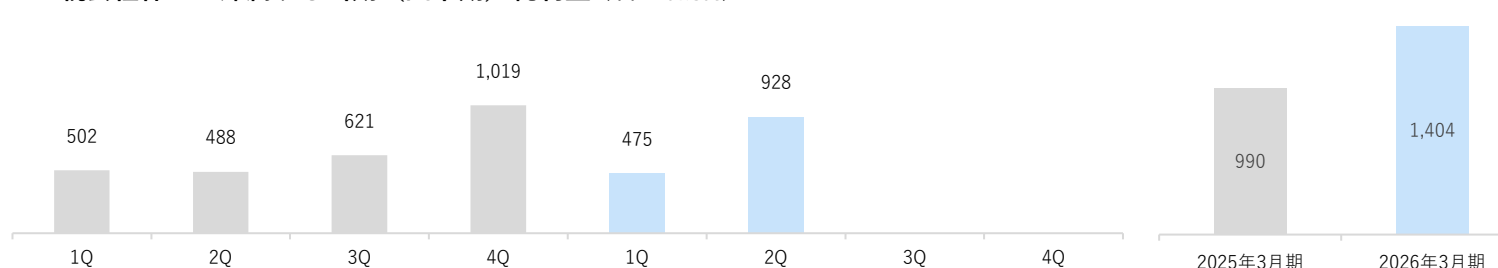
営業収益
13.6%増
（前年同期比）

■ 経常利益（単位：百万円）



経常利益
60.5%増
（前年同期比）

■ 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益（単位：百万円）



親会社株主利益
41.8%増
（前年同期比）

1-②. セグメント情報 < 営業利益 >

- ▶ 連結営業利益は、前年同期比48%増の2,522百万円。
- ▶ 証券セグメントは、債券等のトレーディング損益の減少により、前年同期比6%の減益。
- ▶ 不動産セグメントは、中古マンションの販売単価の上昇や高齢者施設の売却益計上等が寄与し、前年同期比75%の増益。



*1 不動産セグメントに含まれるのれん償却額は「のれん償却」として別掲表示

*2 本社(持株会社)費用は上場維持・グループ管理などの経費

*3 セグメント間取引は主に、当社及びあかつき証券との社債関連手数料の消去

2. 連結BS

- ▶ 総資産は22,690百万円増加
 - ・ 販売用不動産+4,014百万円、差入保証金+1,591百万円、預託金+10,700百万円、信用取引貸付金△704百万円
- ▶ 負債は21,640百万円増加
 - ・ 短期借入金*1+6,016百万円、預り金+14,588万円、長期借入金△661百万円、ノンリコース長期借入金△500百万円
- ▶ 純資産は1,049百万円増加
 - ・ 利益剰余金+859百万円、非支配株主持分+162百万円

	2025年 3月31日	2025年 9月30日	増減
流動資産	84,874	107,868	+22,994
現預金	19,451	25,599	+6,148
預託金	23,800	34,500	+10,700
販売用不動産	31,338	35,353	+4,014
固定資産	7,161	6,856	△304
のれん	699	610	△88
投資有価証券	3,772	3,937	+164
総資産	92,035	114,725	+22,690

	2025年 3月31日	2025年 9月30日	増減
流動負債	60,565	83,312	+22,747
預り金	22,479	37,067	+14,588
短期社債	7,000	7,000	+0
短期借入金*1	25,219	31,235	+6,016
固定負債	12,561	11,455	△1,106
純資産	18,853	19,902	+1,049
株主資本	17,810	18,670	+859
負債・純資産	92,035	114,725	+22,690

*1 短期借入金と1年内返済予定の長期借入金の合計

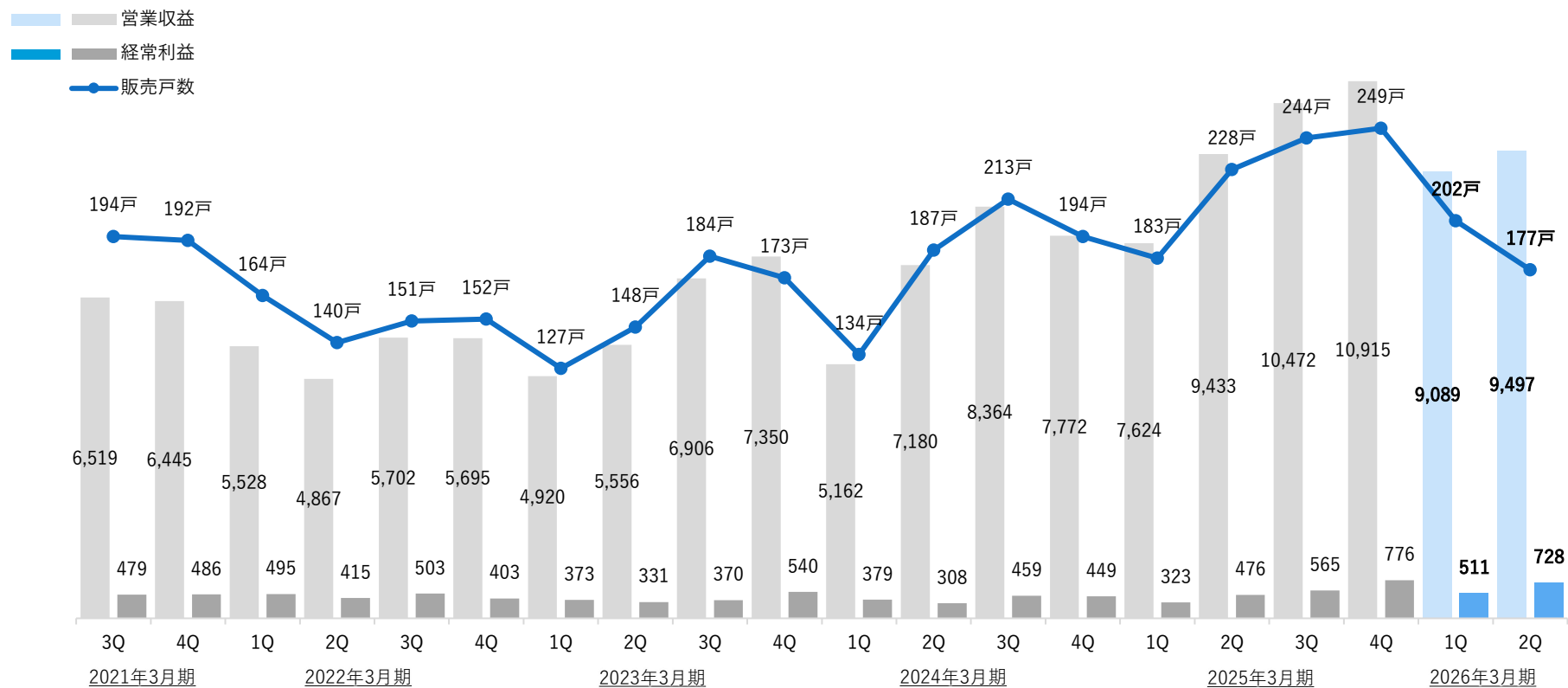
3-①. 証券セグメント ＜あかつき証券・ジャパンウェルスアドバイザーズ＞

証券セグメントについては、あかつき証券(株)とジャパンウェルスアドバイザーズ(株)との連結グループにおける決算説明資料を、参考資料として添付しておりますので、ご参照ください。

3-②. 不動産セグメント <マイプレイス> ―中古マンション買取再販事業―

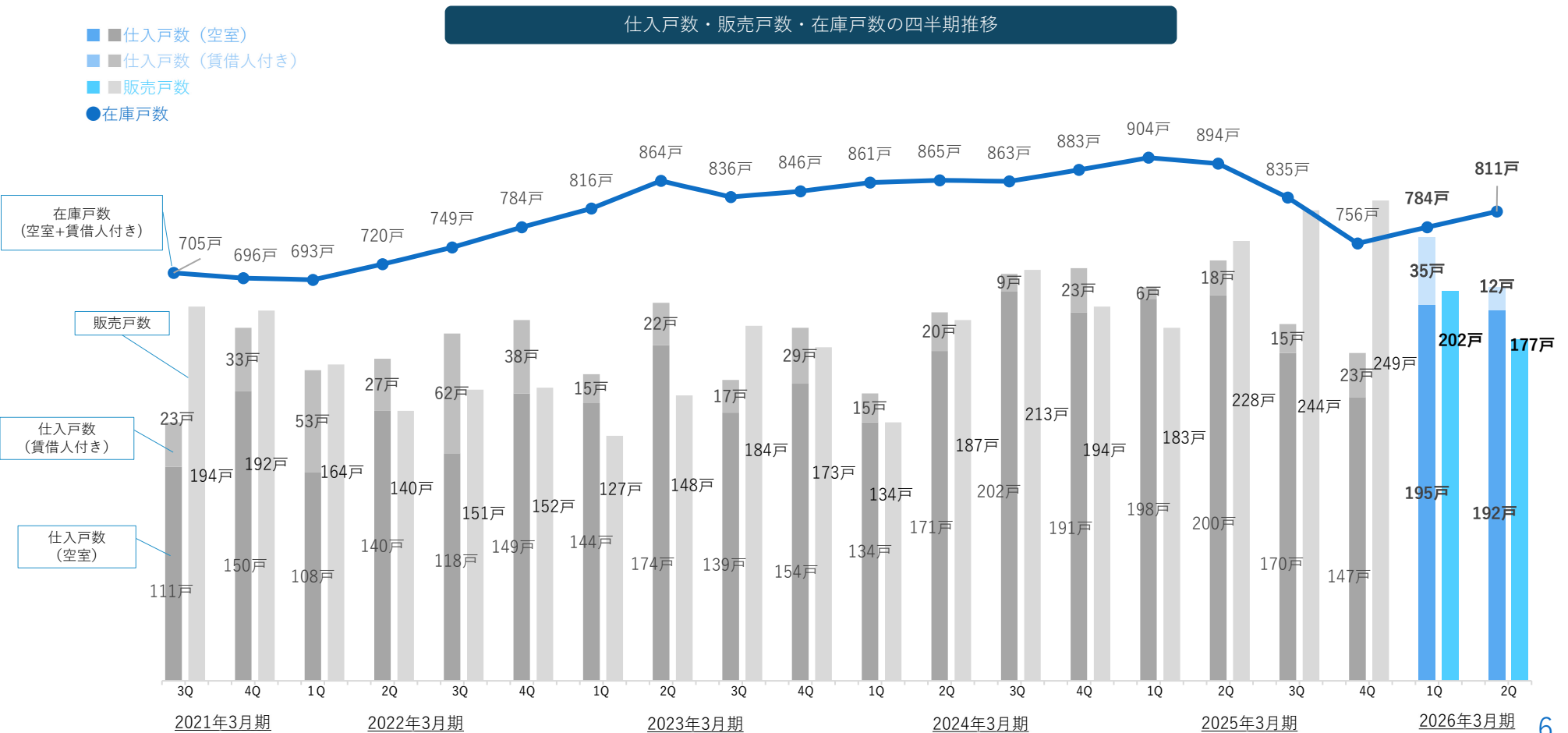
▶ 第2四半期（4月～9月）は営業収益18,587百万円(前年同期比+1,528百万円)、経常利益1,239百万円(前年同期比+439百万円)

営業収益・経常利益・販売戸数の四半期推移



3-②. 不動産セグメント <マイプレイス> ー中古マンション買取再販事業ー

- ▶ 第2四半期（4月～9月）において、仕入戸数は空室 387戸(前年同期比△11戸)・賃借人付き 47戸(前年同期比+23戸)、販売戸数は379戸(前年同期比△32戸)



3-③. 不動産セグメント <EWアセットマネジメント> ー高齢者施設開発ー

- ▶ 熊本PJ①を2025年9月に売却し、営業収益、営業利益に大きく寄与。
- ▶ 福岡PJを2025年4月に開業し、以降は順調に入居者が増加中。

	開発用地取得	開発	竣工	施設売却
福岡PJ (福岡県福岡市南区) 稼働施設保有中	23/6 出資		25/3 竣工	
杉並PJ (東京都杉並区) 稼働施設保有中	23/5 売買契約締結		24/2 竣工・出資	
熊本PJ② (熊本県熊本市東区) 稼働施設保有中	23/3 出資		24/9 竣工	
京都PJ (京都府京都市)	出資		2022/8 竣工	2023/2 売却
西宮PJ (兵庫県西宮市)	出資		2022/7 竣工	2023/2 売却
熊本PJ① (熊本県熊本市西区)	出資		2022/5 竣工	2025/9 売却
横須賀PJ② (神奈川県横須賀市)	出資		2019/11 竣工	2023/5 売却
横須賀PJ① (神奈川県横須賀市)	出資			2020/1 売却
川越PJ (埼玉県川越市)	出資			2019/12 売却
神戸PJ (兵庫県神戸市)	出資			2019/1 売却
江戸川PJ (東京都江戸川区)	出資			2019/1 売却
枚方PJ② (大阪府枚方市) *1		出資		2023/10 売却
枚方PJ① (大阪府枚方市) *1		出資		2020/1 売却

*1 稼働中施設を取得したため当社グループによる開発は行っていません。

4. 配当予想

▶ 配当予想

2019年3月期より、財務の健全性と事業資金の確保に支障を来たさない限りにおいて、連結純資産配当率(DOE)で年間4%の水準を維持し、また、単年度の自己資本利益率(ROE)が4%を上回る場合には、その超過する部分の一部または全部を原資とし、追加の配当支払いまたは自社株買い等による株主還元を行う方針です。

期初の配当予想においては、上記の方針のもと、保守的にDOE4%水準の配当（当期年間配当として1株当たり25円、中間配当として1株当たり12.5円）を開示しておりますが、当期通期業績見通しの進捗状況に応じて、適宜見直しを検討してまいります。

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期 予想
中間配当	10.0円	9.0円	8.5円	9.5円	9.5円	9.5円	11.0円	12.5円
期末配当	8.0円	11.0円	9.5円	8.5円	9.5円	11.5円	17.0円	12.5円
年間配当	18.0円	20.0円	18.0円	18.0円	19.0円	21.0円	28.0円	25.0円
DOE (%)	4.0%	4.8%	4.1%	4.0%	4.1%	4.2%	5.0%	4.0%
ROE (%)	8.9%	11.0%	10.5%	7.2%	5.5%	16.7%	15.5%	14.5%
配当性向 (%)	45.2%	43.1%	39.0%	55.0%	74.7%	25.4%	32.3%	27.7%

参考：2026年3月期通期業績見通し（2025年5月15日開示）

	営業収益	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	親会社株主に 帰属する当期純利 益
2026年3月期 通期予想(百万円)	63,000	4,900	4,400	4,400	2,700
2025年3月期 実績値(百万円)	56,484	3,725	3,890	3,871	2,632
増減率 (%)	11.5	31.5	13.1	13.7	2.6

參考資料

あかつき証券(株) 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明

本資料は、2026年3月期第2四半期（中間期）決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

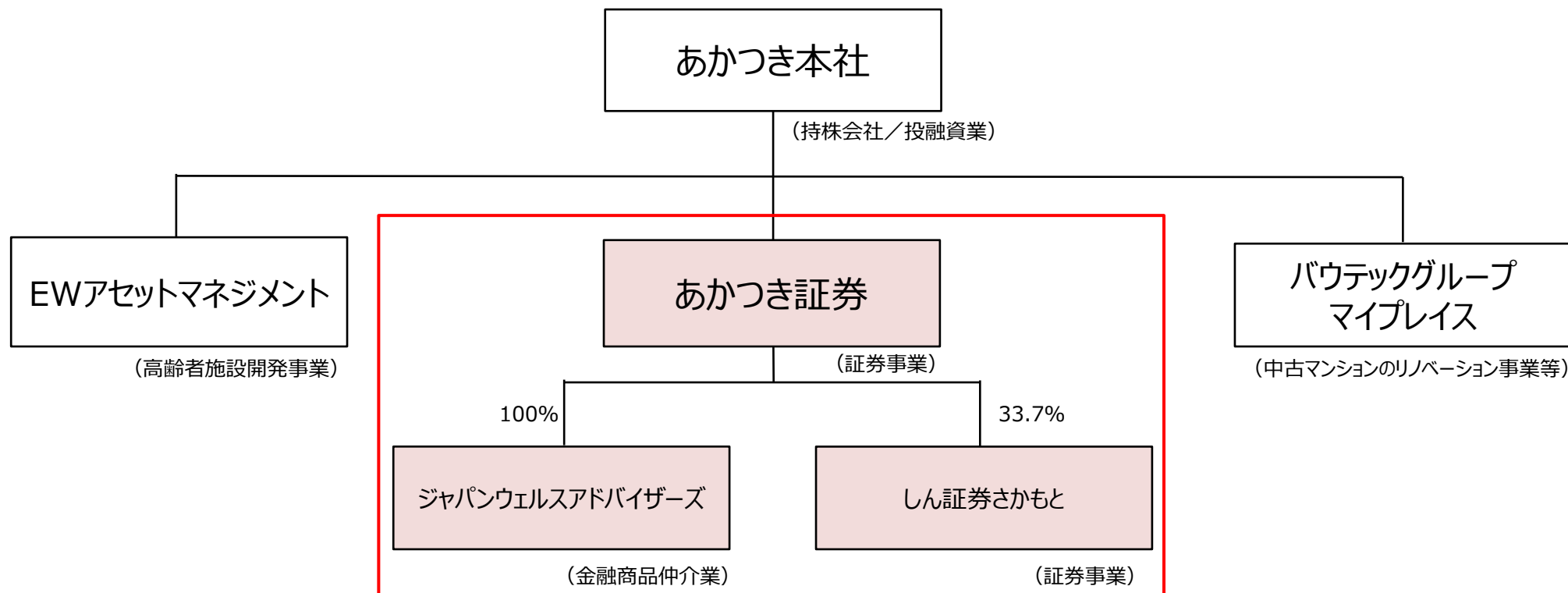
本資料は2025年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

◆（参考）連結対象について

■ あかつき本社グループ構成図（2025年9月末現在、主要グループ会社のみ記載）



あかつき証券連結範囲

- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2025年4月に「株式会社しん証券さかもと」を持分法適用会社化（議決権所有割合33.7%）。

◆2026年3月期 第2四半期（中間期）決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は7,480億円（前期末比+19.5%）、金融商品仲介サービス部門の預り資産残高は4,643億円（前期末比+19.5%）となった。顧客からの入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は282億円の純増と増加。また、契約仲介業者外務員数も1,946名（前期末比+52名）と増加した。
- ✓ 営業収益は7,205百万円（前年同期比△7.9%）となった。受入手数料は、株券委託手数料および信託報酬の増加により3,852百万円（同+19.2%）と増加した。一方で、トレーディング損益は2,993百万円（同△30.6%）と減収となった。
- ✓ 販売費・一般管理費は6,221百万円（前年同期比△8.3%）となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費は4,418百万円（同△13.3%）と減少した一方、固定費は新規システム投資や外部リソースの活用により1,803百万円（同+6.8%）と増加した。
- ✓ 営業利益は918百万円（前年同期比△89百万円 △8.9%）、経常利益は932百万円（同△81百万円 △8.0%）、中間純利益は626百万円（同△154百万円 △19.7%）と減収減益となった。

※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。

※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上していましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

2. 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算（連結）について

◆ 営業損益の状況

- ✓ 営業収益は7,205百万円（前年同期比△621百万円 △7.9%）、営業利益は918百万円（同△89百万円 △8.9%）、中間純利益は626百万円（同△154百万円 △19.7%）となった。
- ✓ 好調なマーケット環境を背景に受入手数料は増加したものの、外貨建債券のプライシング強化等によりトレーディング益が減少し、前年同期比で減収減益となった。

（単位：百万円）

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	7,827	7,205	△7.9%	△621
純営業収益	7,792	7,140	△8.4%	△652
販売費・ 一般管理費	6,784	6,221	△8.3%	△563
営業利益	1,007	918	△8.9%	△89
経常利益	1,013	932	△8.0%	△81
特別損益	△6	△0	-	6
税引前中間純利益	1,007	932	△7.4%	△74
法人税等合計	226	305	34.9%	79
中間純利益	780	626	△19.7%	△154

（単位：百万円）

2025年3月期				2026年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
4,208	3,618	4,279	3,935	3,107	4,098
4,192	3,600	4,261	3,887	3,080	4,059
3,582	3,202	3,686	3,359	2,736	3,484
609	397	574	527	343	574
616	397	560	539	345	587
△0	△6	△4	△14	△0	△0
615	391	556	525	345	587
201	24	178	79	127	177
413	366	378	445	217	409

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、3,852百万円（前年同期比+620百万円 +19.2%）と増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は2,237百万円（同+377百万円 +20.3%）と増加した。信託報酬は403百万円（同+149百万円 +58.7%）と、投資信託の預り資産残高が継続的に増加していることに伴い増加した。

（単位：百万円）

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	3,232	3,852	19.2%	620
委託手数料の主な内訳				
株券	1,860	2,237	20.3%	377
募集・売出手数料の主な内訳				
債券	110	85	△22.1%	△24
投資信託	761	795	4.5%	34
その他の受入手数料				
信託報酬	254	403	58.7%	149
アドバイザー報酬	-	0	-	0

（単位：百万円）

2025年3月期				2026年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
1,733	1,498	1,738	1,939	1,660	2,192
1,012	848	1,055	982	958	1,278
59	51	8	34	52	33
432	329	367	546	295	500
119	134	144	163	184	218
-	-	0	35	-	0

◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、2,993百万円（前年同期比△1,316百万円 △30.6%）と減収となった。
- ✓ 株券トレーディング損益は254百万円（同△174百万円 △40.7%）、債券等トレーディング損益は2,583百万円（同△1,162百万円 △31.0%）と減少した。

(単位：百万円)

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	429	254	△40.7%	△174
債券・為替等	3,880	2,738	△29.4%	△1,142
（債券等）	3,745	2,583	△31.0%	△1,162
（為替等）	135	155	14.8%	20
合計	4,309	2,993	△30.6%	△1,316

(単位：百万円)

2025年3月期				2026年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
249	180	224	140	83	170
2,087	1,793	2,165	1,678	1,237	1,500
2,023	1,721	2,064	1,593	1,161	1,421
63	72	100	84	75	79
2,336	1,973	2,390	1,818	1,321	1,671

◆部門別純営業収益推移

【ウェルスマネジメント部門】

- ✓ 部門収益は1,280百万円(前年同期比△13百万円 △1.0%)となった。主な内訳として、株式収益が689百万円(同+17.8%)、投資信託収益が208百万円(同+6.1%)、債券収益が261百万円(同△29.4%)となった。

【金融商品仲介サービス部門】

- ✓ 部門収益は5,806百万円(前年同期比△630百万円 △9.8%)となった。主な内訳として、株式収益が1,925百万円(同+3.9%) 投資信託収益が986百万円(同+22.4%)、債券収益が2,025百万円(同△34.1%)となった。

(単位：百万円)

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増加率	前年同期比 増加額
純営業収益	7,792	7,140	△8.4%	△652
ウェルスマネジメント	1,293	1,280	△1.0%	△13
金融商品仲介サービス	6,437	5,806	△9.8%	△630
その他	61	53	△14.0%	△8

2025年3月期				2026年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
4,192	3,600	4,261	3,887	3,080	4,059
692	601	633	622	628	651
3,461	2,975	3,575	3,202	2,427	3,378
38	23	51	62	24	28

- ※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
- ※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。
- ※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

◆販売費・一般管理費

- ✓ 販管費は、6,221百万円（前年同期比△563百万円 △8.3%）と減少した。
- ✓ 新規システム投資や外部リソースの活用により固定費が114百万円増加した一方、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が677百万円減少した。

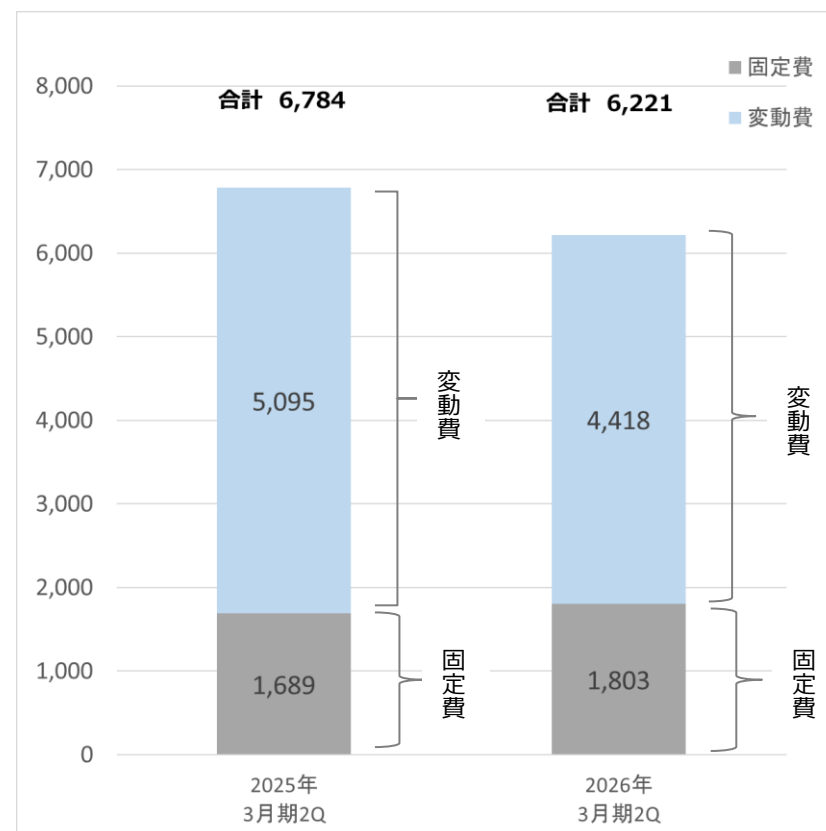
（単位：百万円）

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	4,444	3,680	△17.2%	△764
人件費	1,605	1,735	8.1%	129
不動産関係費	205	230	12.2%	25
事務費	395	429	8.6%	33
減価償却費	52	60	16.0%	8
租税公課	46	45	△2.7%	△1
雑費その他	34	40	18.2%	6
販売費・一般管理費計	6,784	6,221	△8.3%	△563

（単位：百万円）

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	1,689	1,803	6.8%	114
変動費	5,095	4,418	△13.3%	△677

（単位：百万円）



◆貸借対照表

- ✓ 資産は、顧客からの預り金が増加した結果、現金・預金が4,942百万円、預託金が10,700百万円増加したこと等により、前期末より18,065百万円増加した。
- ✓ 負債は、預り金が14,726百万円増加したこと等により、17,415百万円増加した。
- ✓ 純資産は、中間純利益および持分法適用会社に係る利益剰余金が650百万円増加したこと等により、9,189百万円（前期末比+649百万円）となった。

	2025年3月期	2026年3月期 2Q	前年度末比 増減額
流動資産	42,729	60,655	17,925
現金・預金	10,860	15,802	4,942
預託金	23,800	34,500	10,700
信用取引資産	4,682	4,578	△103
その他流動資産	3,387	5,773	2,386
固定資産	1,473	1,613	139
資産合計	44,202	62,268	18,065

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期 2Q	前年度末比 増減額
流動負債	35,165	52,554	17,389
信用取引借入金	1,157	2,596	1,438
預り金	22,468	37,194	14,726
短期借入金	8,900	9,600	700
受入保証金	800	924	124
その他流動負債	1,838	2,238	399
固定負債	442	469	26
特別法上の準備金	55	55	-
負債合計	35,663	53,079	17,415
純資産	8,539	9,189	649
株主資本	8,501	9,151	650
其他有価証券評価差額金	29	28	△1
新株予約権	9	9	-
負債純資産合計	44,202	62,268	18,065

◆自己資本規制比率の状況

	2024年3月期				2025年 3月期				2026年 3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
自己資本規制比率(%)	412.2	416.2	406.1	398.9	380.9	416.8	381.4	404.9	368.1	382.2
控除後自己資本	5,215	5,503	5,289	5,681	6,186	6,454	6,406	6,894	7,110	7,432
リスク相当額	1,265	1,322	1,302	1,424	1,623	1,548	1,679	1,702	1,931	1,944
市場リスク相当額	78	112	14	46	81	45	33	114	207	126
取引先リスク相当額	234	204	239	266	367	291	400	298	432	532
基礎的リスク相当額	952	1,005	1,048	1,110	1,174	1,211	1,245	1,289	1,291	1,284

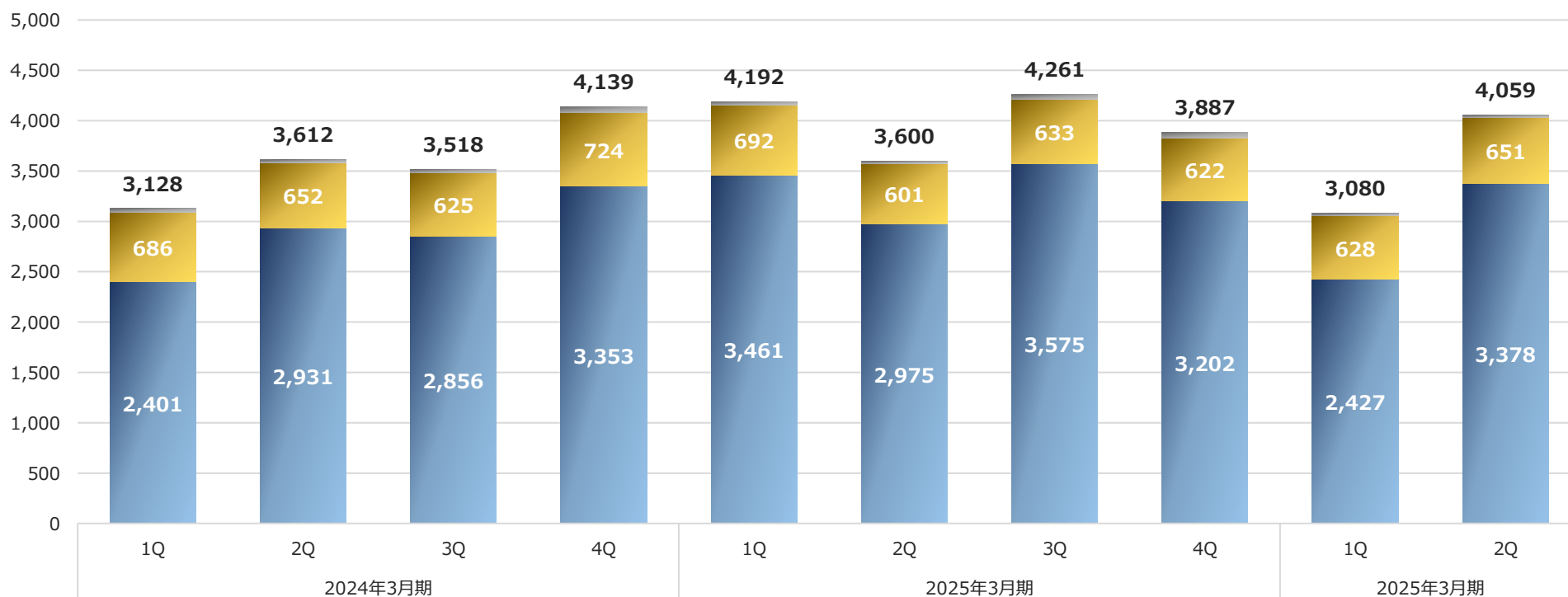
3. 業績の推移について

◆純営業収益の推移（部門別）

✓ 当第2四半期における当社の純営業収益は4,059百万円となった。

(百万円)

■ 金融商品仲介サービス ■ ウェルスマネジメント ■ その他



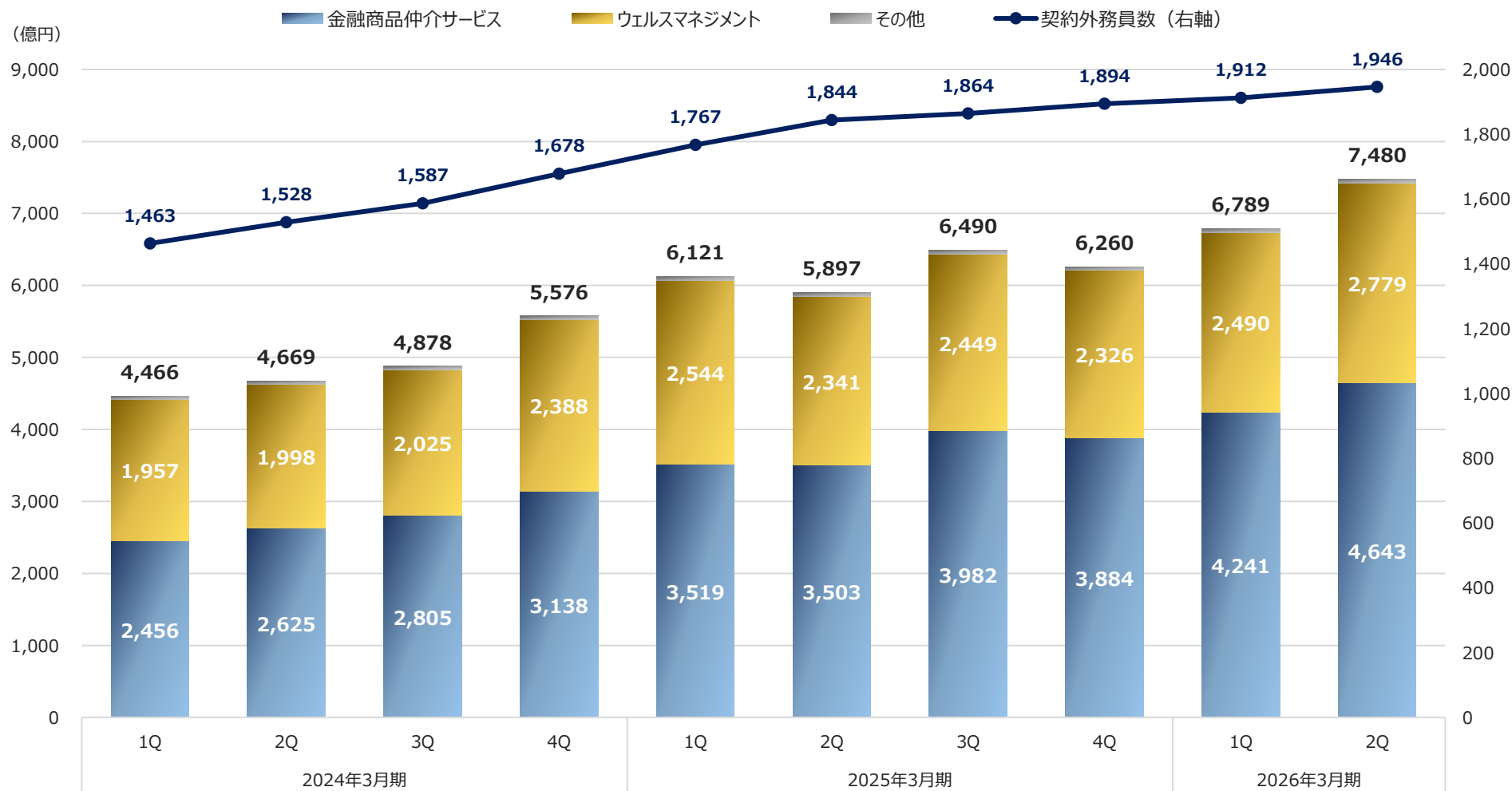
※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。

※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

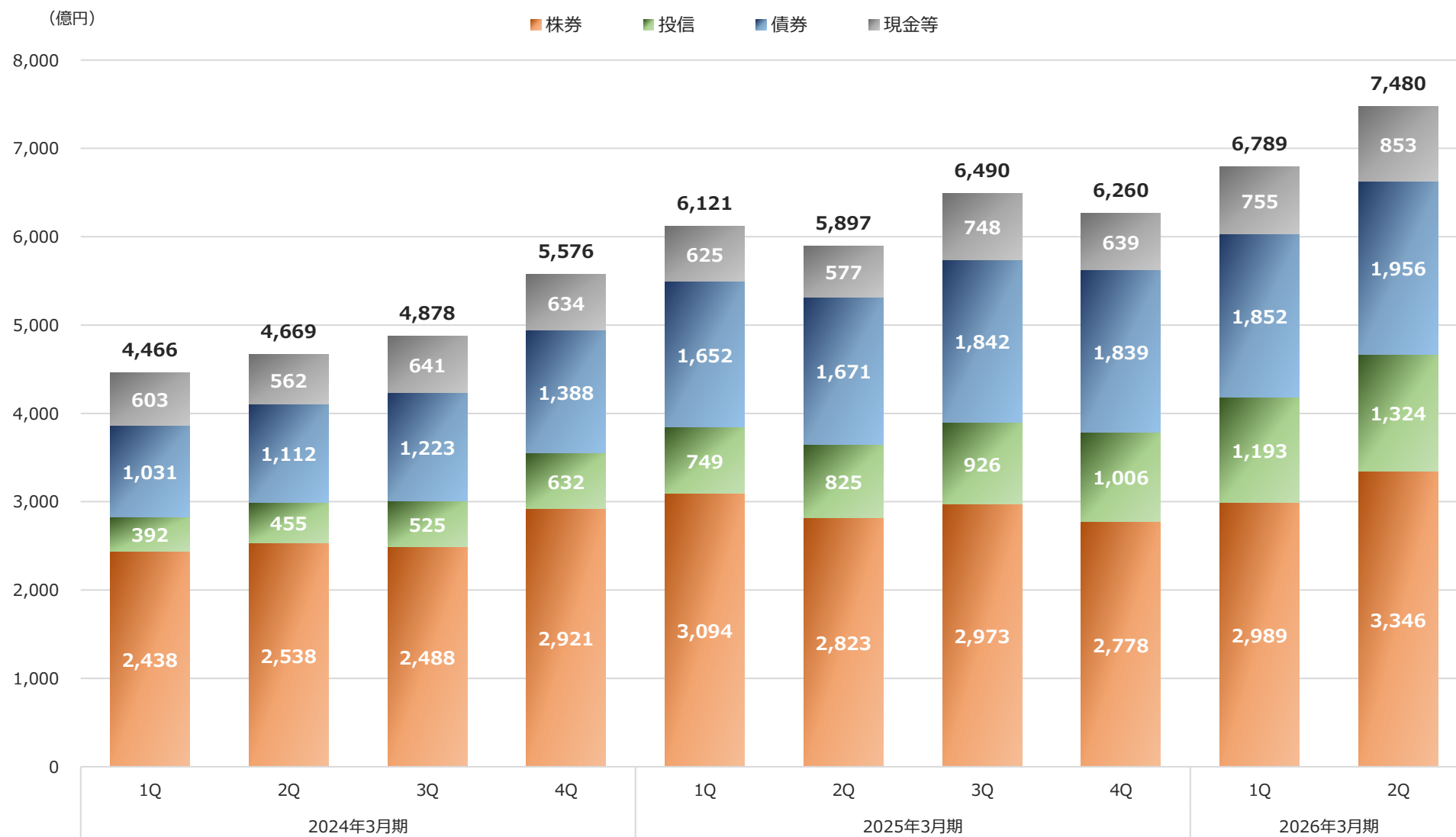
◆ 預り資産残高の推移（部門別）

✓ 預り資産残高は、7,480億円（前四半期比+691億円）となった。契約外務員数は1,946名（同+34名）となり継続して拡大中である。



※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リアル部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
 ※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。
 ※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆ 預り資産残高の推移（商品別）

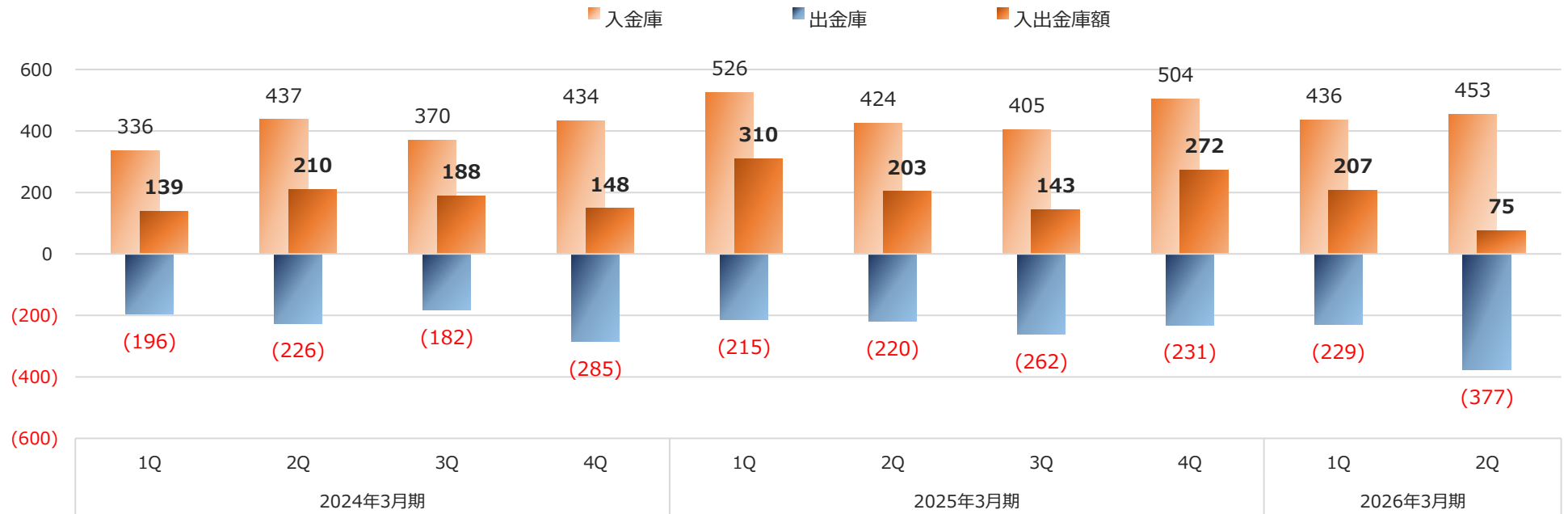


※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆入出金庫額の状況

- ✓ 入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は、当第2四半期で75億円の純増となった。
金融商品仲介サービス部門の堅調な拡大に伴い、継続的に高水準の資金導入が図れている。

(億円)

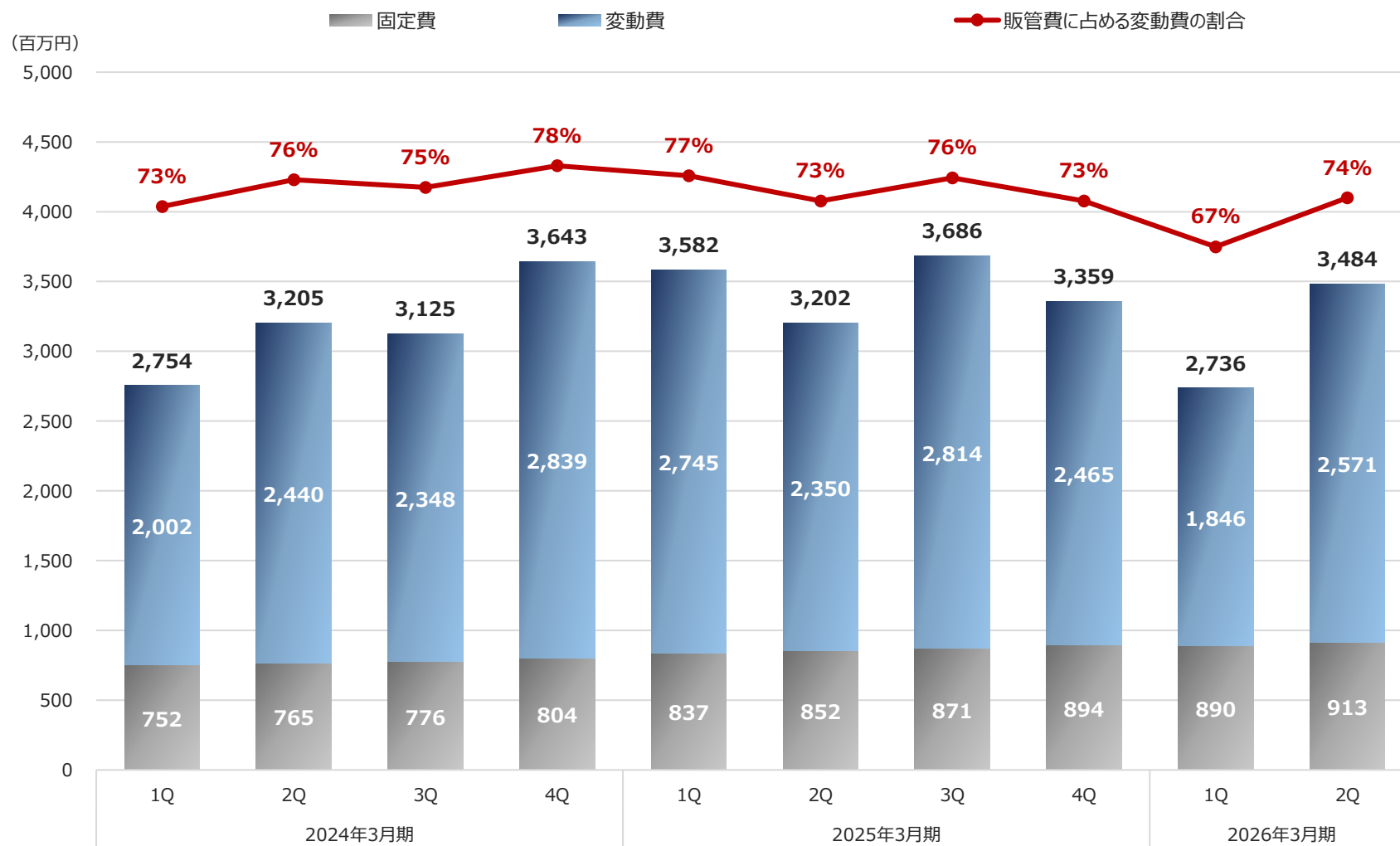


(億円)

	2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
入金	290	392	382	388	1,398	456	374	346	431	1,609	383	410
入庫	45	45	42	45	177	69	50	59	73	251	53	43
入金庫	366	437	370	434	1,577	526	424	405	504	1,860	436	453
出金	△175	△194	△147	△249	△765	△151	△185	△220	△197	△763	△196	△292
出庫	△20	△32	△34	△36	△122	△64	△35	△42	△34	△176	△33	△85
出金庫	△196	△226	△182	△285	△889	△215	△220	△262	△231	△930	△229	△377
入出金庫額	139	210	188	148	685	310	203	143	273	930	207	75

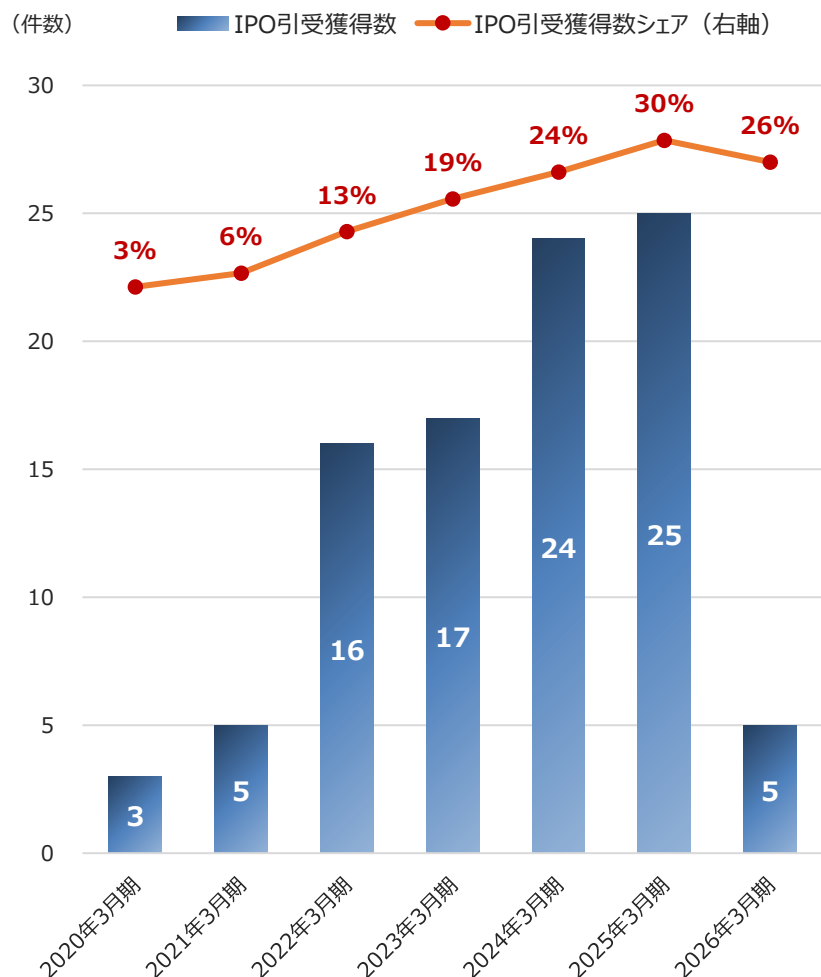
◆販管費及び販管費に占める変動費の割合

- ✓ 当第2四半期における当社の販管費は3,484百万円となり、販管費に占める変動費の割合は74%と引き続き高水準を維持しており、安定的な経営構造の確立を図っている。



◆IPO市場への取り組み

✓ 当第2四半期は市場全体で19社が新規株式公開し、うち当社獲得件数は5社、当社シェアについても26%となった。



IPO引受獲得数ランキング 2025年4月～2025年9月			
順位	引受会社	件数	シェア
1	SBI	17	89%
2	松井	13	68%
3	楽天	10	52%
4	東海東京	10	52%
5	マネックス	9	47%
6	岡三	9	47%
7	野村	9	47%
8	日興	9	47%
9	みずほ	9	47%
10	岩井コスモ	8	42%
11	丸三	7	36%
12	大和	6	31%
13	あかつき	5	26%
14	極東	5	26%
15	水戸	4	21%
16	三菱UFJ	4	21%

※日本取引所グループ公表資料をもとに当社作成

免責事項

本資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

本資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。